



日本共産党

川 口 知 子

常設のユースクリニックを 18



問 ネット等には性に関する誤った情報があふれている。こども・若者が性について正しい知識を学べ、身近に相談できる常設のユースクリニックの設置への考えを伺う。

答 市長 ユースクリニックを常時設置することは、こどもや若者が専門家にさまざまな悩みを相談できる場の確保につながるものと考えている。

その設置に当たっては、専門人材の確保、開催場所の選定、財政負担の課題はあるが、設置によって、こどもや若者の身近な場所で切れ目のない支援につながるものと考えている。

【問】非正規の不安定雇用改善 【問】ユースクリニック



日本共産党

今 野 英 子

報償金の単価引き上げを 20



問 ごみの減量化および資源化の推進、地域コミュニティの活性化に当たっては、集団回収報償金は有用と考えるが、今後単価を上げることについての市の考えを伺う。

答 環境部長 集団回収報償金の単価を上げることについては、現在、集団回収に取り組んでいる団体にインセンティブが働き、取り組みの向上や資源回収量の増加が期待できるとともに、新たな団体の参加によるごみの減量化および資源化の促進等も期待できるものと認識している。報償金単価の引き上げには、新たな財源が必要となることから、スリーアールなどの他の取り組みとのバランスを踏まえながら検討していく。

【問】ごみ減量の取り組み 【問】児童館のさらなる充実を



川越志政会

吉 敷 賢 一 郎

次期市長と新年度予算 22



問 現在編成している令和7年度予算案とその予算を執行する新市長の政策との間に乖離が生じることも想定されるが、考えを伺う。

答 市長 令和7年度の当初予算案は、人件費や扶助費等の義務的経費などが中心の骨格予算として編成を進めている。新市長の方針に基づく政策的経費は、新市長の下で、しかるべき時期に肉付け予算の補正予算案として議会に提案してもらうことにより、大きな問題が発生する可能性は少ないと考えている。もし乖離が生じた場合は、新市長の責任の下で、覚悟を持って議会等に適切な説明をしながら自分の方針を進めればよいものと考えている。

【問】市長としての4期16年



日本共産党

池 浜 あ け み

こどもが安心する居場所 19



問 不登校の児童生徒が安心できる場として教育センターの教育支援室や校内学習室のさらなる拡充が必要だ。学校現場がこどもたちの安心できる場となるための方策は。

答 学校教育部長 まず大切なことは、学びやすい環境づくりをすることである。分かる授業づくりはもちろん、学級活動等を通して、一人一人の良さを認め、安心できる居場所をつくるとともに、教員が児童生徒一人一人に向き合い、親身に悩みや相談を聞くことが大切である。支援について、児童生徒や保護者と共に考え、一人一人に応じた対応を一つ一つしていくことが、学校を安心できる場とするための方策と考えている。

【問】安心してすごせる居場所 【問】旧市民会館、市立診療所



日本共産党

柿 田 有 一

市民を巻き込んだ議論を 21



問 本庁舎整備は、市長の任期中には十分な議論が行われなかった。今後の川越市を広い視野で市民と共に話し合うべきと考えるが、次期市政に市長が残す言葉は。

答 市長 本庁舎は、老朽化や狭あい化などの課題があることから、今後、新しい市長の下で、議会や市民として議論しながら検討を進めていく必要があると考えている。特に、庁舎の位置については、人の流れや庁舎周辺施設に大きな影響を及ぼすことから、市民の意見を聞きながら、時間をかけて、丁寧に進めてもらいたい。

【問】川合市政の積残した課題



無所属

川 口 啓 介

施設マネジメントの遅れ 23



問 施設更新の検討が当初の想定より遅れている要因は。

答 栗原副市長 更新の検討を進める際は、市民ニーズに対応した施設の再配置や機能の見直し、関係機関や地域住民との合意形成、財源や人員の調整など、複雑かつ多くの調整プロセスを丁寧に進めていく必要がある。取り組みが計画どおり進んでいない要因は施設ごとに異なるが、取り組みを進めるための調整プロセスを一つ一つ着実に進めていくのに時間を要していることが、主な要因であると考えている。

【問】公共施設マネジメント

